

「卵管が閉塞している患者様へ」

卵管鏡下卵管形成術（FT法）のお知らせ

※卵管不妊は日帰り手術の時代に

・卵管は妊娠の成立に関わる重要な部分、とても繊細な役目を果たしています。ところが最近この卵管が傷んでいるために不妊症となっている方をよく見かけます。あなたは大丈夫ですか？ 感染症、子宮内膜症など卵管に障害を起こす原因はたくさんあります。まずは予防することが大切ですが、傷んでしまったら…。現在では考えられる治療法としては、**傷んだ卵管を治そうとする方法（手術）と、卵管を使わないで妊娠しようとする方法（体外受精）**との二つが中心となるでしょう。

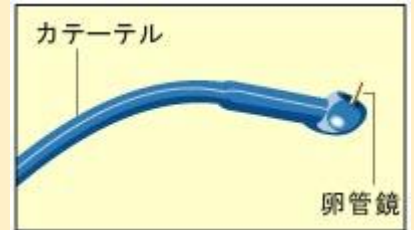
・後者の体外受精が先端不妊治療として華々しく脚光をあびている中で、やはり**できれば自然に妊娠したい**という思いが常に我々の（また皆様の）中にあります。そんな中で**最近注目されているのが、先端医療の手術である卵管鏡下卵管形成術（FT法：falloposcopic tuboplasty）**です。手術といえば、従来の方法では入院による開腹手術（腹腔鏡）が中心でした。しかしこのFT法は**日帰り手術が可能**です。

・FT法に用いられる卵管鏡は、円筒状の伸長性バルーンカテーテルとその内側に毛髪ほどの細さのカメラを組み込んだシステムで、**卵管内腔の病態を直接把握し治療することが可能**です。さらにFT法は低侵襲であり外来診療での実施を可能とし、また**保険診療**でもあり**費用面でもとてもメリット**があります。治療成績は、**卵管の開口は80%以上に確認され、術後の妊娠率も非常に良好**です。皆様がもし卵管病変を指摘され、体外受精を勧められているとすればFT法は非常に有効な治療法かもしれません。一度相談にこられませんか？

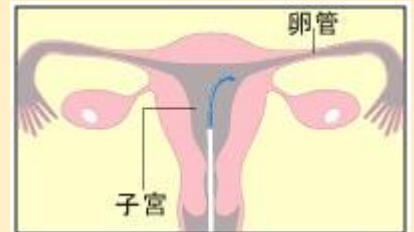
※卵管鏡下卵管形成術（FT法）の実際

• 卵管鏡下卵管形成術とは

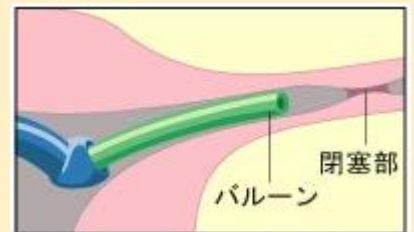
①細い内視鏡（卵管鏡）を内蔵した
細い管（カテーテル）を用意します。



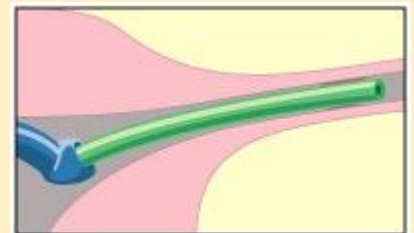
②カテーテルを膣から子宮へと挿入し、
卵管に近づけます。



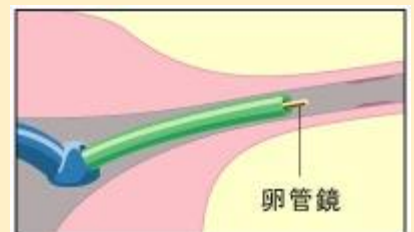
③カテーテルの風船（バルーン）を
膨らませて、卵管の中へバルーンを
進めます。



④詰まっているところを広げます。

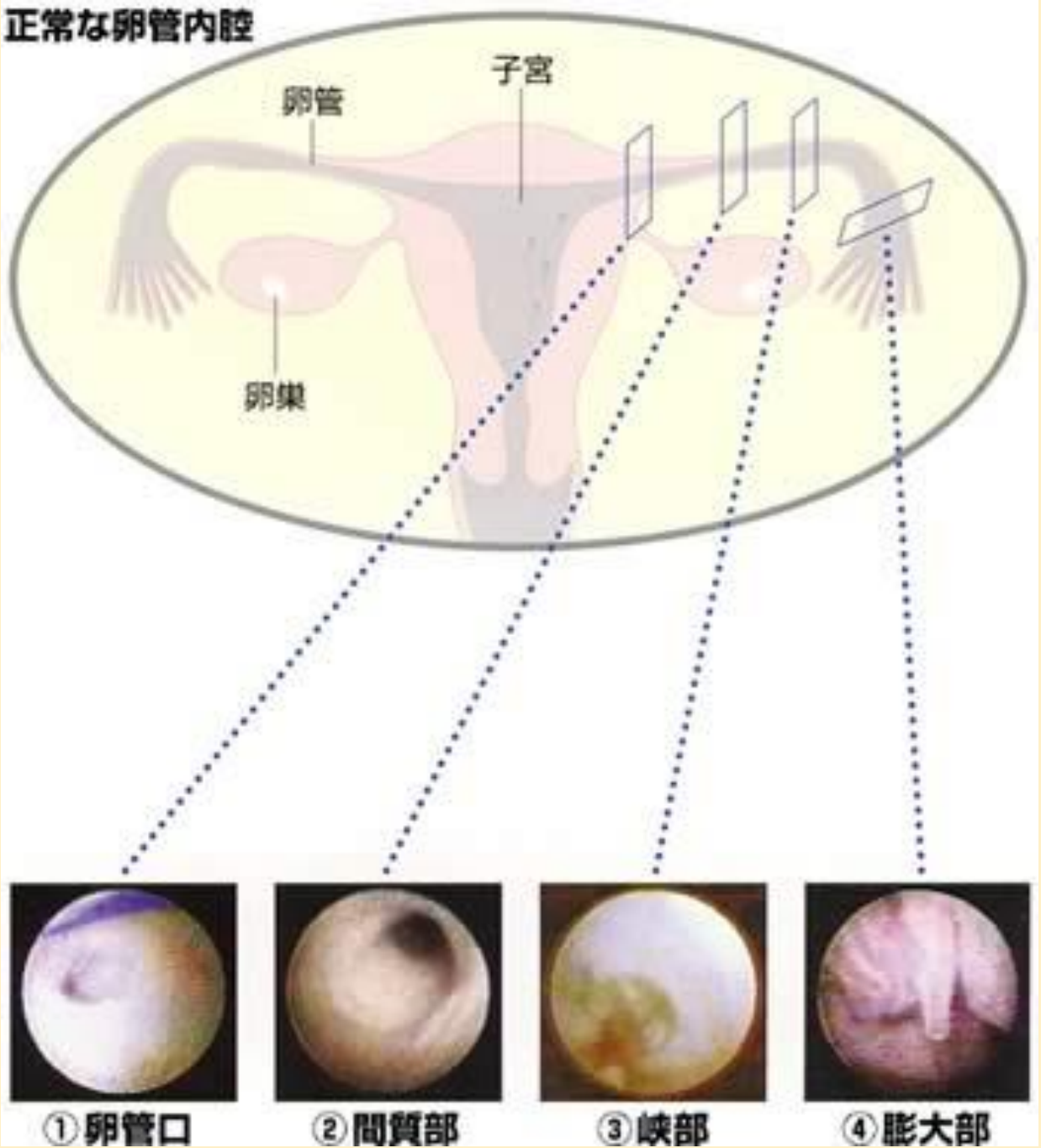


⑤卵管内の様子を、卵管鏡を使って
観察します。



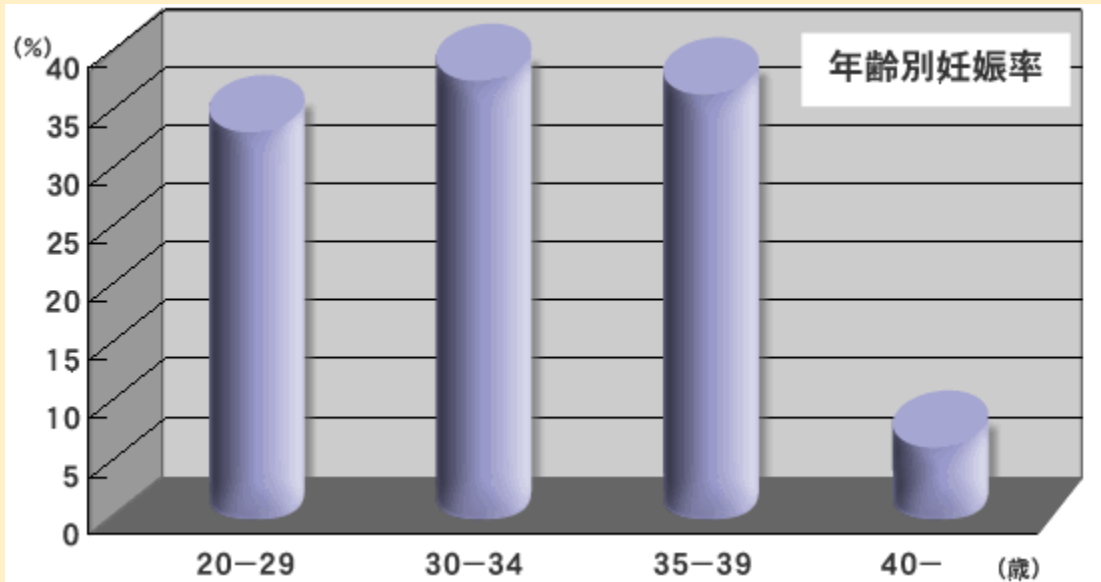
- 卵管鏡で見る卵管内の様子

正常な卵管内腔

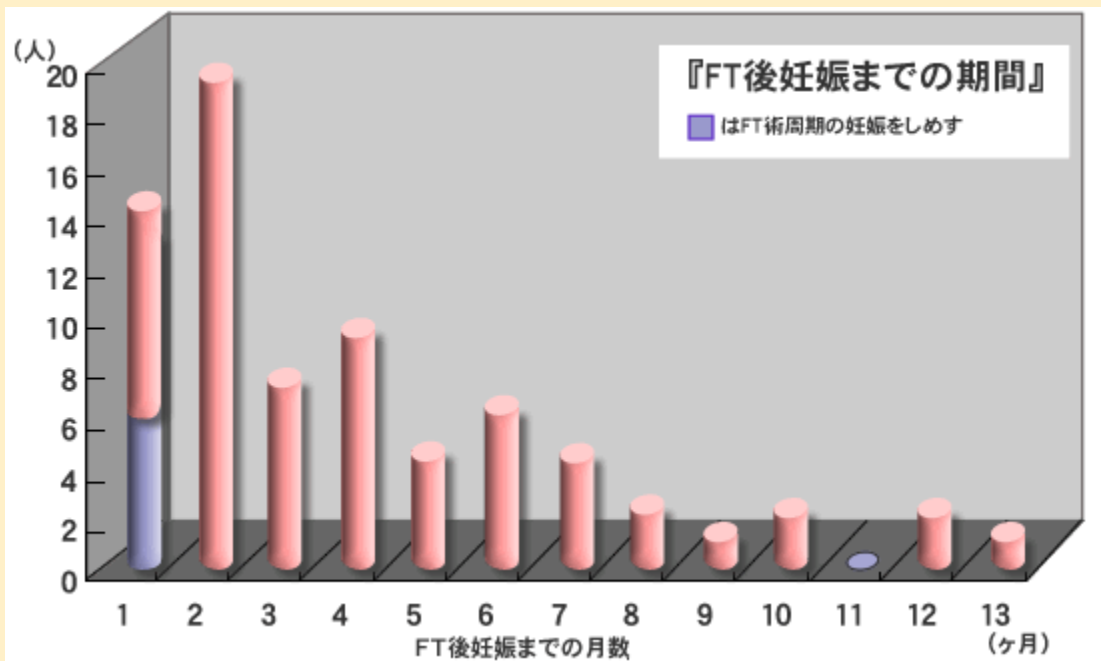


※術後妊娠率と妊娠までの期間

- 卵管鏡下卵管形成術（FT）を実施後の「年齢別妊娠率」



- 卵管鏡下卵管形成術（FT法）を実施後の「FT後妊娠までの期間」



※卵管鏡下卵管形成術（FT法）Q&A

Q：仕事が忙しい私ですが治療を受けられるでしょうか？

A：大丈夫です。手術といえば、従来の方法では入院による開腹手術（腹腔鏡）が中心でした。しかしこのFT法は低侵襲であるために安全であり、**日帰り手術**が十分に可能となっています。したがって外来診療で行えますので、お仕事をもたれている方でも安心して受けていただいております。

Q：治療効果は？

A：非常に良好です。**治療成績**としては、**卵管の開口は80%以上に**確認され、他に不妊要因をお持ちでなければ術後の妊娠率にも直接反映されます。

Q：費用はどれぐらいかかりますか？

A：**保険**が使えます。自費診療である生殖補助医療（体外受精・顕微授精）と比べて保険診療ですので安心。**その他保険制度面においていろいろなメリット**があります。外来にてお聞きください。